

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	外国語2	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	井口 純	実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士		
学習目的					
この科目は、グローバル化が当たり前の21世紀において、外国語ここでは英語へ親しみ、理解を深めることを目的とする。また今年度は題材として英語圏の建築からアメリカ（北米）の建築と都市を取り上げる。特に従来日本の建築アカデミズムの世界でアメリカ建築は評価が低く、一般的な認知度も低い。それらを改めることも目的とする。総じてこの授業を通して英語に対して苦手感のある学生も、英語に多少抵抗感を無くすこと、建築に関する単語やヴォキャブラリーを増やしていくことを目的とする。					
到達目標					
この科目では、学生が、建築という素材を通して英語に親しむこと、またこの授業をきっかけとして英語圏など海外の建築にも目を向け 関心を高めることを目標としている。また放送大学の試験対策を過去問の演習を数回行うことにより、学生の放送大学の英語科目の合格率を上げることを目標とする。さらには建築業界にもグローバル化の波が押し寄せる中、将来的に学生が社会に出たとき、仕事で海外案件などに従事する際に現地のスタッフとうまくコミュニケーションを採れることも目標とする。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、毎回地域や建築家などテーマを決めてスライドやプリントを用いて解説していく。テーマによってさらにビデオも視聴し、より理解を深める。また放送大学の英語科目対策として、数回過去問を演習し解答を解説する。				
注意点	授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題を提出しても不合格となる。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	90%	試験は行わない、別紙課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%	特になし		
	レポート	5%	複数回授業中に教材から自分の知らない英単語を10個調べ、書き出し提出する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%	特になし		
	平常点	5%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	Architecture in East Coast	アメリカ東海岸の建築についての特徴 Salt Box, Skyscraper			
2回	Boston and New York	ボストンやニューヨークの2都市 都市や最新の建築について			
3回	Architecture in West Coast	アメリカ西海岸の建築の特徴 Spanish Colonial, Case Study House			
4回	Los Angeles and San Diego	ロサンゼルスやサンディエゴの2都市 都市や最新の建築について			
5回	American Architect 1	Louis Kahnの建築について			
6回	American Architect 2	Frank O Gehryの建築について			
7回	American Architect 3	Richard Meier その他の建築について			
8回	How to study in USA	アメリカへの留学、大学、資格、仕事について			
9回	建築英語に触れる 1	Basic English for Architecture Unit 3			
10回	建築英語に触れる 2	Basic English for Architecture Unit 5			
11回	TOEIC演習 1	TOEICの過去問題演習			
12回	TOEIC演習 2	TOEICの過去問題演習			
13回	American Architect 4	Frank L Wrightの建築について			
14回	American Architecture in Tokyo	Frank L Wrightの「自由学園」を見学			
15回	補足 課題提出	1～14回までの補足、課題提出 受付 確認			